

ライフジャケット

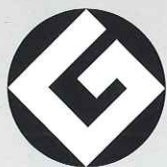
いつも

特許第3076334号

Prop

安全と安心

墜落を感知しエアバッグが開きダメージを吸収!



グッドデザイン賞受賞

センサー感知後
約0.2秒



<http://www.prop-g.co.jp>

高所・低所からの落下衝撃を吸収！ 人体へのダメージを軽減します。

墜落災害はいつ起こるかわかりません。
最新のセンサ技術とエアバッグ技術によって
その一瞬の出来事から、あなたを安全に守る
まったく新しい安全用品、それが“いつも”です。

80cm以上の高さからの 墜落を感知します！

作業中は普通のベストスタイル
ですが、墜落を感知するとエア
バッグが開く構造になっていま
す。またエアバッグが作動する
高さは約80cm以上ですので、普
段の作業には支障はありません。



センサ



インフレーター

瞬時に開くエアバッグ。

エアバッグはインフレーターから
送り込まれたガスによって瞬時
に膨らみ、写真のように頭部、
頸椎、脊髄、背骨、腰部を守る
ようになっています。そのスピー
ドは、落下をセンサが感知し
てから約0.2秒！



写真はエアバッグが開いた状態です。

落下テスト

スタントマンを使っている
エアバッグ作動の様子



仕様

製品質量/1,450g 電源/アルカリ乾電池単三型2本 電池寿命/単三2本で200時間 作動温度/0℃~40℃

落下テストの衝撃値 85kgのダミーによる落下試験

独立行政法人産業安全研究所における実験データ

高さ		1 m	1.5 m	2 m	2.5 m	3 m	5 m	
		エアバッグなし	m/s ²	1,597	1,813	3,205	4,635	5,458
	G	163	210	322	473	557	745	
	HIC	791	970	2,625	6,327	7,097	14,440	
エアバッグあり		m/s ²	931	1,019	1,078	2,244	3,361	3,087
		G	95	104	110	229	343	315
		HIC	420	501	716	2,020	2,331	3,126

※落下条件/水平仰向けでダミーを落下(最も不利な落下姿勢での実験による)。
保護帽(墜落時保護用のもの)を常時使用。

衝撃の評価について(2輪車用安全帽の基準……JIS)

人体に与える衝撃力の影響は、人間のどこにどんな衝撃が加わるかということで異なるが、特に生命への影響に関しては頭部にかかる衝撃が一番重要である。その衝撃の大きさの評価には、衝撃加速度の波形を見る必要があり、自動車関係ではその波形をもとにHIC(Head Injury Criteria)というものを計算しているが、これは衝撃加速度の大きさに重み付けをした面積(平均衝撃加速度×持続時間)である。

この評価を簡略化する場合には、最大衝撃速度の大きさと衝撃の持続時間を見れば良く、JISの乗車用安全帽、自転車用安全帽ではこの方式を採っている。

	乗車用A種	乗車用B/C種	自転車用
最大衝撃加速度	3920m/s ² (400G)	2940m/s ² (300G)	2940m/s ² (300G)
1960m/s ² 200G以上の持続時間	2ms以下	—	—
1470m/s ² 150G以上の持続時間	4ms以下	4ms以下	4ms以下

●製造元

●販売元

株式会社プロップ

〒162-0808 東京都新宿区天神町8番地
神楽坂Uビル4F

TEL.03-5206-8766 FAX.03-5206-8760

<http://www.prop-g.co.jp>